

# 日本レディースバドミントン連盟だより



J.L.B.A.

Vol. 8

## Something New

理事長 村井 広美



平成21年度が開始しました。何か新しいことと言えば、やはり本年度よりスタートいたしますヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2009の開催でありましょう。ご存じのとおり、従来大阪府レディースバドミントン連盟の主催で14回にわたり開催されてきました大会を、日本で開催する楽しい団体戦という特徴を生かし、より国際的な広がりを持った、質のよい生涯スポーツを提供していきたいという目的を持って、大阪府連盟より引き継いだものです。ここに至る大阪府連盟の努力を無にすることなく、新しい展開を加味し発展させていくことは誠に責任の伴うものではありませんが、一都道府県に任せることなく、日本レディースバドミントン連盟として

の負うべき課題であると判断いたしました。

財団法人日本バドミントン協会の共催をいただき、国際部広報によるネットワーク協力、資金面での補助金の確保など、希望と期待は持っておりますが、いかに展開をしいければいいのか、いまだ手探りの状況であります。具体的な大会の運営は、当面従来通り主管の大阪府が受け持ちます。両者でよい協力態勢をとつつ、大阪府レディースバドミントン連盟にとっては勿論、日本レディースバドミントン連盟にとつての誇りを切にお願いいたします。これによりわが連盟は、3全国大会を持つこととなります。

新年度より新しい副理事長が加わります。連盟では年来若手役員の活性化を進めてまいりました。役員選出は各都道府県の推薦決定事項であります。登録人数が増加し、年齢層も変化し、社会的な状況も変化をしております。執行部である役員が率先して組織の状況に合わせた運営体制を作りたい、そして新しい風の吹く連盟であってほしいものとの心がけ、念願しております。

## 清水前会長を偲んで

日本レディースバドミントン連盟

副会長 根岸 知子

梅の花が散り、桜の便りが聞かれる頃になると日本レディース連盟の総会が近づきます。

平成11年戸田前会長の後任に清水前会長が、日本家庭婦人バドミントン連盟会長の任に就かれました。

当時は、日本バドミントン協会副会長・東京都バドミントン協会会長を兼務し、浅岡副会長のご推薦で受けなられたと伺っております。

新しい組織は、「レディース連盟」戸惑いも不安も感じていらつしや、会議の前はいつも何かあるか？変わった事は？と問われていました。

その反面、ヤンチャなほんんで私達も何度かハラハラしたものです。

東京大学バドミントン部50周年にお招き頂いた時、お仲間と杯を重ね談笑される姿は、澁刺とした会長の青春時代を垣間見た様な気がしました。

香川の大会で、金毘羅様の一番乗りを目指して着替えの無い会長は、ワイシャツから背広一式クリーニングに出し、翌日なんとか間に合せたり、眼鏡を忘れて会議で書類と悪戦苦闘したり、今は色々な事が懐かしく思い出されます。

日本レディースの一時期、連盟を愛し、大切に務めて頂き感謝を致しております。

本当に有難うございました。清水前会長のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



# 第26回全日本レディースバドミントン選手権大会

期日：平成20年8月7日(木)～10日(日)

会場：日本ガイシホール

日本ガイシスポーツプラザ第2競技場  
(名古屋市)

12回大会以来2度目の会場となった日本ガイシホールでの開会式

愛知県レディースバドミントン連盟理事長

太田 礼子

第26回全日本レディースバドミントン選手権大会を、平成20年8月7日～10日に日本ガイシホール・スポーツプラザ第2競技場において、都道府県対抗45チーム・クラブ対抗46チームの合わせて91チーム、869名の選手を迎えて開催しました。私も連盟役員は一丸となって準備を進めてまいりました。本大会は、平成6年度第12回大会を主管して以来2度目の開催になりその上、北京オリンピックと同時期開催だったので大変印象深い大会となりました。

開会式においては、一チームずつの入場となると最初に入場した北のチームは最後の南のチームまで拍手をしながら待っていないかならなければならぬが大変という声を聴き、選手が一齐に入場すれば時間も掛からず一石二鳥との案を採用しました。懇親会も300人以上となると会場選びがなかなか難しいので、今回は参加人数を制限させていただいて移動の負担を皆様におかけしないで参加してもらえ懇親会を企画しました。初めての試みでしたが、これならうちの県でも開催できると思っていただけではないかと思っています。

そして素晴らしい大会だったとの言葉を頂いた時は、連盟会員・東海ブロックの多大な協力のもとに本大会を開催できたことに感謝し、嬉しく思いました。

本大会開催にあたり多大なご支援ご協力頂いた協賛会社、日本バドミントン協会、日本レディース連盟、地元の関係機関の皆様にご心より感謝申し上げます。



クラブ対抗 優勝 岡崎フェニックス (愛知県)

地元の応援を背に実力発揮！



都道府県対抗 優勝 神奈川県

故斎藤久子前会長の遺影に後押しされたかのように嬉しい初優勝の神奈川県チーム



愛知県役員の皆様



愛知県チーム 山西智佳子・鈴木たまま 選手



クラブ対抗戦 2位 四条畷クラブ (大阪府)



都道府県対抗戦 2位 東京都



クラブ対抗戦 3位 名古屋名城 (愛知県)



都道府県対抗戦 3位 埼玉県



クラブ対抗戦 3位 マーガレット (愛媛県)



都道府県対抗戦 3位 大阪府

クラブ対抗戦 成績表

優勝	岡崎フェニックス (愛知県)
2 位	四条畷クラブ (大阪府)
3 位	名古屋名城 (愛知県)
3 位	マーガレット (愛媛県)

都道府県対抗戦 成績表

優勝	神奈川県
2 位	東京都
3 位	埼玉県
3 位	大阪府

# 第3回全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)

京都府レディースバドミントン連盟理事長

小国 久美

第3回の全日本レディースバドミントン

競技大会(個人戦)を引き受ける事となつてからの約3年間は、終わってみればあつという間だったと感ずる程いろいろな事を考えさせてもらった期間でした。平成20年12月5日～7日、向日市民体育館をメイン会場に京都市体育館、大山崎町体育館の3会場で全国40都道府県より970名もの多数の参加を得る事ができ盛大に開催することができました。08年に入つてからはその場をイメージしてシミュレーションをして必要な事や物を考えたり、3会場に分かれるため各会場の担当をきめると、その会場毎にどのように進めたらいいかを自発的に意見を出す様になつてくれたりと、役員にとつても一歩スキルアップする経験とな

りました。

今回の大会では、1部に非常に若い選手が出場され高度なプレーを拜見することができました。またお手伝い下さいました京都府バドミントン協会の役員の方からは、各ブロックの選手の元気はつらつさには脱帽すると賞賛の言葉を頂戴するほど熱気あふれるプレーを見せて頂きました。これからも、ますます1部・2部それぞれの持つ意味を大切にしながら大会が発展していくことを願っています。

大会期間中、何かと不備な事が起こっていたと思いますが、私達はこれ以上できない程精一杯考え行動してきましたので反省はしない事にしました。この大会で足りなかったところを茨城県の皆様に埋めていただき、より一層充実した大会になります様お祈りしています。

最後になりましたが、大会開催に至るまでの間ご指導頂きました日本バドミントン協会、日本レディース連盟の役員の皆様、また細やかなアドバイスを頂きました大阪府、東京都連盟の皆様にお礼を申し上げ報告とさせていただきます。



期日 平成20年12月5日(金)～7日(日)  
会場 ホテルグランヴィア京都(開会式)  
向日市民体育館  
京都市体育館  
大山崎町体育館



1部ブロック  
畑末 絵理香  
真栄田 直子

京都での大会に参加させていただき有難うございました。いつも笑顔で二人で努力することをモットーに頑張りました。その褒美と嬉しく思います。役員の皆様に心より感謝いたします。



2部(B)ブロック  
片岡 千恵美  
磯山 浩美

二人で組んで初めての優勝だったので本当に嬉しいです。お互いの力を信じ、自分達のプレーが出来たと思います。これをステップにまた上を目指し頑張りたいです。ありがとうございました。



2部(A)ブロック  
松山 裕子  
金子 正子

西日本大会が全日本に変わり、初めて出場した2部Aで優勝できたのは、お互いがパートナーを信頼して攻撃を続け、弱気にならなかったところが勝因につながったと思います。来年は1部にエントリーしたいと思っています。



2部(C)ブロック  
近葉 裕子  
岡田 忍

本当に、感激でいっぱいです。3年前の第1回大会は決勝で負けて雪辱でのぞんだ2回目は病気で棄権、今回はそのことが頭から離れず大会までは大事に大事にと神経質になりすぎだったので、プレーが出来たことに今は感謝しています。お世話頂いた京都府レディース連盟の方々、本当にありがとうございました。

	優 勝	準 優 勝	3 位
1部	畑末絵理香 真栄田直子 (川西[兵庫])	河田 友美 橋本 早苗 (緑ヶ丘[兵庫])	西城真理子 深澤 友恵 (エー・カーン・フック・カーン[東京])
2部 Aブロック	金子 正子 松山 裕子 (静岡バドミントン・シャトルハウス[静岡])	稲子田朝美 重村 泉 (山口ふしの[山口])	武智悠里子 立田あずさ (松山レディース[愛媛])
2部 Bブロック	片岡千恵美 磯山 浩美 (東大阪M.B.C[大阪])	野崎 智厚 堀池由紀子 (西東京・杉並いなほ[東京])	早 香代 木村 恵里 (キララ[和歌山])
2部 Cブロック	岡田 忍 近葉 裕子 (シニア[福井])	篠崎 悦子 落合 愛美 (あひる[栃木])	廣本 美秀 内山 咲子 (城の原バドミントン・住吉[福岡])
2部 Dブロック	松原 春美 井下由紀子 (広島スイング[広島])	松崎 厚子 木村 幸美 (シャトルフランス[千葉])	山本 邦子 児玉 幸代 (沙羅[奈良])
2部 Eブロック	佐藤 和美 米沢千江美 (手児茶[千葉])	佐野 玲子 梯 栄子 (東大和/テニス・桜園/テニス[東京])	佐々木敦紫 金上 洋子 (MIXドロッパ[宮城])
2部 Fブロック	田代千知子 知念小夜子 (オーラル・レイボー[神奈川])	宮崎美江子 田倉テイチ (調布エリガンス・府中[東京])	沢田 典子 児玉 洋子 (吹田ミセス[大阪])
2部 Gブロック	土庵 清子 森田 洋子 (西華[奈良])	宮本 容子 米口 順子 (三鷹ロビンス・若草会[東京])	桶本百合子 香月美津子 (セピア・黒崎[福岡])
2部 Hブロック	河内山由利子 内田 紅美子 (静岡・ブルーリース[長崎])	鈴木八重子 松木三枝子 (スマッシュ・三鷹ロビンス[東京])	小沢 町子 村上きよ子 (霞城の友スポーツ愛好会[山形])
2部 Iブロック	成川 睿子 下川 敏子 (いちょう・はまなん[神奈川])	江原美智子 横山 和子 (ラフランス・秋桜[長崎])	佐々木洋子 山田ミヨ子 (オリブ・大宮[東京])



閉会式後の懇親会では京都ならではの舞妓さんの登場に会場は多いに盛り上がりました。



閉会式で挨拶される京都府連盟 田中田鶴子会長



**2部 (H) ブロック**

河内山 由利子  
内田 紅美子

2日間頑張りました。昨年2位でしたので大会の反省をもとに、知力、体力を大事にお互いを信じあいゲームをつくっていく事に心がけました。作戦がうまくいったのがとても良かったと思います。会場に来てのペアですがこれからも2人で頑張っていこうと思います。ありがとうございました。



**2部 (F) ブロック**

田代 千知子  
知念 小夜子

良いパートナーがいて良いライバルがいていままでやってこれたと思います。みな様に感謝です。



**2部 (D) ブロック**

井下 由紀子  
松原 春美

2回目の参加で優勝できた事がとても嬉しいです。でも、日に日に体がポロポロになり、疲れがなかなかとれないのは、歳のせいかと思っています。しかし、この大会に向けて二人でいろいろと努力し結果がでた事は良かったと思っています。



**2部 (I) ブロック**

下川 敏子  
成川 睿子

ペアを組んで10年目、やっと優勝することができました。良いパートナーに恵まれ、良いコーチに恵まれ、良いチームメイトに恵まれ、私達は頑張る事が出来ました。今回の大会は2人の気持ちが一つになり最後までやれました。バドミントン「バンザイ」



**2部 (G) ブロック**

森田 洋子  
土庵 清子

故障が治らなくて、出場も危ぶまれていて森田さんにゴメンネ! と言っていたのに思いもかけずに優勝できて本当に喜んでます。嬉しいです。森田さんに迷惑をかけながら一緒に喜び合うことが出来良かったです。クラブの皆さんも喜んでくれると思います。



**2部 (E) ブロック**

佐藤 和美  
米沢 千江美

大会関係者の皆様、本当にありがとうございました。この大会に参加するまで、沢山の人の応援にいただき支えていただきました。今回の結果は心から嬉しい優勝です。「試合は普段の練習の力を試す場所、力まずやること」といただいた言葉を思い出して、二人で信頼しあえてバドを楽しめました。

# 国際親善ロスアンゼルス大会を視察して

総務部長 川副 幸子

竹内・白井両副理事長、競技部長の民谷さん、総務部長の川副が、09年度の日本レディース連盟への移管に先がけ、ロスアンゼルス第14回国際親善大会2008へ視察に行つてまいりました。

海外で初めて開催する今大会では、国際親善の神髄を見ることができたように思います。

まず実感したのは、日本とUSAのスポーツ環境の違いです。日本でトップ選手を育てるのは学校・企業、USAではスポーツクラブ、それも個人が資産をつぎ込んで体育館も建てて選手を育てているのです。大会ではこのコートで育て上げられた名プレイヤー達が活躍していました。オリンピック選手もいるのです。

また、日本のように大きな連盟はなく、日頃の繋がりがたくさん、選手が集まってきてくれました。会場には、友達や家族も遊びに来てい



てアットホームで楽しい雰囲気でした。試合では、海外チームとの対戦の時も相互審判をしたので、シャトルを放り投げるトスがあつたり、じゃんけんが万国共通であることを知つたり、試合の度に記念撮影をしたり、楽しい交流が目一杯できました。

お互いを理解しながら、同じコートでバドミントンという共通のスポーツを通じて笑いあえるなんて、世界平和にも貢献しているかもしれませんね。09年度から日本レディース連盟に移管されますが、さらに国際色豊かな大会にしていきたいでしょう。

初めて全日本の試合の審判をする事になって最初はとても緊張していました。でも審判に呼んでもらえたことを、とても嬉しくおもいました。全国から来た選手を見るのはとても新鮮で、プレーを見ることはとてもいい経験になりました。中にはとても年配の方もいて、最初はとても驚きました。でも、ペアの人と協力して真剣に、そして楽しそうに試合している姿を見て、バドミントンを続けるっていいことだなんて思いました。

(女子)

今回一番すごいと思ったのは、ミスしても笑顔で「ドンマイ」と言つて楽しそうにプレーしてはつたところです。負けてもやり切つた表情でとても楽しそうでした。技術面もそうだけど精神的に気分が落ち込んでいたらいプレーはできないんだなと思いました。大人になつてもあんな風に楽しくバドミントンが出来るようになりたいと思いました。

(女子)

女の意地の強さはすごいんだなあつて改めて思いました。負け

## 第3回 全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)

### ・・・私達もお手伝いしました・・・ 京都府立亀岡高等学校バドミントン部

てもくじけない精神力、どんな球にも喰らいつこうという根性は今後自分がプレーする上で見習わなければいけないことだと思えました。

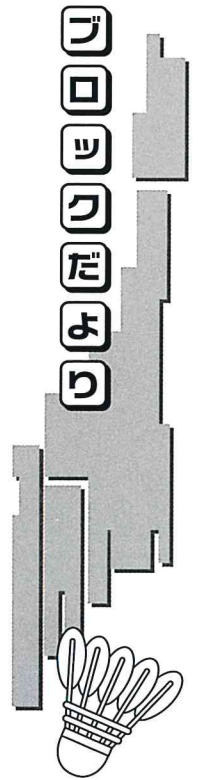
(男子)

この大会を見るまでは、「レディースならもしかしたら僕もいい試合が出来るかもしれない。」など軽いことを思っていました。が、試合を見てみるとレベルの高い試合ばかりで、バドミントンに費やしている時間は僕達と比べ物にならないし、何回も何回も同じ練習をして身につけたストロークなのだなということが伝わってきました。

(男子)

全力でプレーしていた姿に感動を覚えました。どのペアも二つのラリーが丁寧かつ正確に入ることがすごかったです。年を取つてからのプレースタイルというやつなんでしょうか。(中略)年配の方がこうやって頑張つておられるのを見て、私達の世代も負けられないように技術向上に努めたいと思いました。

(女子)



北海道ブロック理事  
北海道 遠藤 静子

いつもは大阪で行われている国際親善大会の主催が日本レディース連盟に代わりつつある中、20年度の大会がロサンゼルスで開催されるとの事で、私は10月に他の試合があるにも拘らず、2月の第1回目の締め切りのときに気のあった友人6名ですぐに申し込みました。北海道からは全部で2チーム、ダイアモンドクラブと札幌ライラックが参加しました。

それからの8ヶ月の間は私達は何回も試合に出かけた時の話し合いを行いました。家族にはロサンゼルスには試合に行くと言う事を強調しながらも他の事を思い浮かべ、行く前から楽しい日々を過ごしておりました。

初めて国際親善大会に参加した人は、自分達の年齢に合った試合ができること、そして団体戦の楽しさを味わうことができる大会がすく魅力であった様です。これからも年を重ねながらこのように楽しめる大会に参加できるように頑張っていこうと云いながら帰ってまいりました。ありがとうございました。

東北ブロック常任理事  
宮城県 西大條 和子

第15回東北地区レディースバドミントン大会が、平成20年11月2・3日と宮城県にて開催されました。6年ぶりの当番ですが緊張とあれこれ準備に忙

しい1年でした。

1日目は各県役員の親睦バドミントン会をし、午後から総会、監督会議で組み合わせ抽選をし、夜は秋保温泉「緑水亭」で開会式、レセプションと各県役員選手の懇親会を行い親睦を深め、翌日の競技大会へ繋ぎます。2日目は競技開始です。1部(経験者)、2部(未経験者)と16チームの団体戦が行われ、熱戦が繰り広げられました。年々選手の若返りを感じます。将来がとも楽しみみです。この人達が東北ブロックの組織を盛り上げてくれる事を願います。前年まで、年1回の総会での顔合わせでしたが、今年は7月に3役会を持ち、互いの組織の現状を話し理解する事から始めました。秋の大会までの宿題もあり、より積極的に取り組む事を確認し合いました。その結果、秋の総会でこれまで以上の白熱した意見が出され、宿題であった種目も次年度開催の岩手大会より実施される方向に満場一致で決定しました。すく楽しみみです。

大会も盛会の内に無事終了する事が出来たことを皆さんに感謝申し上げます。考えてばかりでは前に進めません。一歩踏み出すことです。頑張ッ！東北！

関東ブロック  
群馬県会長 今成恵美子

平成20年度は、群馬県レディースバドミントン連盟にとりまして、非常に充実した有意義な年となりました。5月に関東ブロック大会、11月に関東クラブ対抗を開催させていただき、無事

盛会に終わりましたことは私共の大きな喜びでございます。これも、関東連盟浅岡会長様、並びに関東レディース連盟竹内理事長様始め、役員、関係者の皆様の暖かい御指導、御助言、御力添えの賜物と深く感謝申し上げます。また、御参加くださいました選手の皆様の手汗握る激戦は、私共の心を揺さぶるものでした。群馬にいまひとつ欲しい気力、体力、技術、根性を実感として学ばせて頂きました。この体験を今後の活動に繋げていきたいと思っております。本当にいろいろなもの頂き、有難うございました。今後共御指導、御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。皆様ますますの御健康と御活躍をお祈り申し上げます。

北信越ブロック評議員  
石川県 堀 純子

平成20年5月3日(日)に、第25回北信越レディースバドミントン大会を金沢市で開催いたしました。大会会場の都合により、日程がゴールデンウィークと重なりましたが、たくさんの方々が出場してくださり盛大な大会になりました。感謝しております。また、前日の役員会議では、様々なことについて意見交換を行いました。その中でも、クラブ対抗代表権の部の参加資格について、小さいチームに限らず大きいチームでも、規約にかなうチーム編成がだんだん困難になっているとの意見が一番多く出ました。連盟で選手全てを把握することとは難しいですが、バドミントンをごよなく愛する人達が、全国大会で楽しくプレーできる環境づくりに今後努力をしたいと思います。

来年22年には富山県で「全国スポーツ祭」、また23年には「全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)」の開催と、北信越ブロックも大いに盛り上がりっております。石川県バドミ

トン連盟としても、成功に向けてぜひ協力していきたいと思っております。

東海ブロック  
静岡県 井出 昌子

平成21年度より、東海ブロックの理事に就任いたしました。わからないことが多く不安ではありますが、周囲の皆様が助けていただきながら努めていきたいと考えています。

東海ブロックでは愛知・三重・岐阜・静岡の4県が、春の団体戦と秋の個人戦で交流親睦を深めています。個人戦の際に開催される理事長会議では、毎回様々な議案を持ち寄り、活発な意見交換が交わされています。昨年の会議では、全日本レディース大会(個人戦)に、より多くの優れた選手をいかに輩出できるかが主な論点となりました。「主婦・母親・職業婦人の三役を無事にこなしながら、バドミントンプレーヤーとしてもエンジンジョイでできる」環境づくりに、少しでも尽力できるよう努力していかなければと認識を新たにいたしました。

また、愛知・静岡では定例となったオープン大会に、毎年他県から多くの選手に御参加いただいています。全国のレディースの皆様からバドミントン技術に限らず、様々な情報交換の機会をいたたけることに大変感謝しています。今後も全日本レディースの皆様との交流をより深め、連盟全体が更に発展していくことを望んでいます。

近畿ブロック評議員  
兵庫県 宿里 和江

近畿レディースバドミントン連盟の当番県を滋賀県より引継ぎ、平成20年度は、兵庫県の担当となりました。5月22日(木)に宝塚市でクラブ対

抗近畿予選会を開催いたしました。全国大会では、四条畷クラブ(大阪)が3位入賞、宝塚(兵庫)が5位と健闘しました。全国大会出場を目指すクラブにとっては、いい刺激になったことでしょう。

1月に開かれた第4回理事会では、次年度クラブ対抗近畿予選大会審議(案)審議、日本レディースバドミントン連盟会議報告会。会議終了後、出席者全員で新年会を行い、楽しいひとときを過ごしました。年度最後の3月29日(日)には、宝塚市にて近畿レディースバドミントン大会を開催いたします。

**中国ブロック評議員**  
山口県 三井 房子

中国地区レディース連盟主催の第1回親睦大会を平成16年に広島県で開催し、その後、岡山県・鳥取県・島根県と回り、平成20年11月9日、山口県山口市に於いて5回目の大会を開催しました。

前回大会終了後に聞いた参加者の感想や要望を参考に試合方法の工夫をしました。午前の部では、それぞれ40代・50代・60代の年齢別・県別に3人一組のチームを作り、午後の部では、年齢別に抽選で他県の選手3人とチームを組んで3ゲーム行う団体戦を行い、大いに盛り上がりました。

中国地区は地理的に参加しやすさが異なり、また、各県によっては年齢層の差などの課題はあるものの、更に工夫を重ね、来年も参加したいと思える大会になるよう各県で協力していきたいと思われました。

理事会も同時に開催し、情報交換、課題解決など今後の中国地区レディース発展のために欠かせない行事だと思われました。

**四国ブロック評議員**  
徳島県 宮本 弘恵

第3回全日本レディースバドミントン競技大会に参加して

バドミントンを始めて20数年、これまで全国大会などまるで無縁だった私がこの大会への参加を決めたのは、毎年4月に行われる四国四県の理事長会で、白井日本レディース副理事長様に、「全国の舞台を経験するのもきつとよい勉強になるから、勝敗以外にもきつと得るものがあるはずですよ」と、しり込みする私に優しく助言していただいたことがきっかけでした。

大会1日目は、盛大な開会式に続き懇親会が行われ、京都らしくあでやかな舞妓さんの京舞で華やかなセレモニーの幕開けとなりました。その後、美しい料理に舌鼓を打ちながらお楽しみ抽選会に興じては、同席の他県の方々ともなごやかにおしゃべりが弾み、大変楽しいひとときを過ごさせていただきました。

そして翌日の試合会場では、京都府レディース連盟の方々さまに丸と丸となつて大会運営に携わっているのを目の当たりにして、感心する一方、果たして徳島でこのような立派な大会を開催することができるだろうか、参加して本当によかったと思う反面、会場での2日間私は自問自答するばかりでした。

徳島では今、日本レディースへの登録を増やすことが最大の課題となっています。全国登録に目を向けてもらうことができれば、自然と全国大会への意識も高まるのではないかと、ひいては徳島レディース連盟の発展にもつながる。さすがに全国の壁は厚く、予選敗退で涙を吞みましたが、そんなことを考えさせられただけでも、この大会への参加は私にとって大変有意義なものとなりました。来年は、1組でも多く全国大会へ参加してもらえよう、

私なりに精一杯の働きかけをする決意しております。

最後になりましたが、今回心のこもった温かいおもてなしで、私も選手をお迎えくださいました京都府レディース連盟の関係各位の皆様、心から御礼申し上げますとともに、日本レディース連盟の今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

**九州ブロック評議員**  
宮崎県 岩永 るり

平成20年11月16日、第30回全九州レディース選手権大会を宮崎県高鍋町総合体育館で、九州各県代表47チーム345名の選手を迎えて開催致しました。

都合により、大会の日程変更をしなければならなくなり、体育館の確保に苦労しましたが、前夜の大雨も当日は晴天となり、高鍋町の協力で焼きガキのサービスなどもあり、熱戦にも一役買ったのでは……。

近年、いろいろな大会が増え、選手も全てに参加することが(家庭婦人が原点)ままならず、今大会も選手の日程調整が難しく、チーム編成にご苦労された県もあつたようです。

これからは、ますます色々な事情で参加が減少する傾向にあるかと思いますが、北京オリンピックで関心と注目を浴びたのを機にレディース大会がより発展し、30代・60代それぞれが、交流をも深めながらいつまでもコートで輝いて欲しいと願っています。

次回の第31回大会は、大分県(◎)です。

**編集後記**

この会報も8号の発行となりました。

原稿を練りつつ昨年の北京オリンピックが思い出されます。日本中の人が感動したと思います。いろいろな競技で選手の活躍ぶりが連日テレビで写し出され、バドミントン競技も世界ランキング初のベスト4の末綱、前田ベア又オグシオベアの活躍で盛り上がりメジャーなレベルに近ずいた時間帯に日本では第26回全日本レディース選手権大会(団体戦)が名古屋で開催されました。12月には第3回全日本レディース競技大会(個人戦)が京都で開催されました。冬の京都に全国各地から多くの選手が参加され親睦の輪が広がりました。

バドミントンを愛するレディースの人達やがんばる選手の活躍をこれからもつたえられたらと思います。

堀米喜美子

**《広報部員》**

- 西大條和子 土肥 昌代
- 堀米喜美子 宇山 昌子



発行  
日本レディースバドミントン連盟  
大阪府八尾市福万寺町南 二一四三二八  
TEL 072-219-3170  
FAX 072-219-3171  
Mail nichijal@kawachi.zaq.ne.jp  
URL http://www.jbad.gr.jp

責任者 村井 広美  
編集 広 報 部